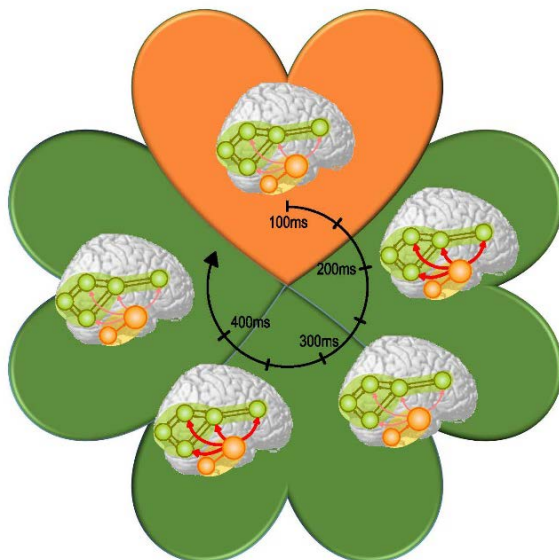


脳活動イメージングで探る感情脳



座長 正木 信夫 (ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ)

演者 佐藤 弥 (京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻 発達障害支援医学講座)

協力 河内山隆紀 (ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ)

感情は、重要な心のはたらきです。ヒトは不快を避け幸福を求めて生きており、感情は究極の価値基準となっています。しかし、感情を生み出す心のしくみは明らかではなく、哲学や心理学では長く議論が続いていました。近年の非侵襲脳活動イメージング研究は、感情の神経メカニズムを解明しつつあります。

本発表では、動的表情刺激や心理学的質問紙を利用して感情について調べた我々の研究を紹介します。課題fMRI研究と脳磁図研究から、感情刺激に対して扁桃体がすばやく活動すること、扁桃体が新皮質の広範なネットワークの活動を調節することが明らかになりました。構造的MRI画像と安静時fMRI研究から、主観的幸福感には楔前部が関与しており、扁桃体との機能的ネットワークが形成されていることが示されました。こうした研究から示唆される、感情を生み出す脳のしくみ、そして感情を活用し幸福を高める生き方への提案をまとめます。

ランチョンセミナーのチケットは 7月21日(金)7時30分より
幕張メッセ国際会議場 1階
「ランチョンセミナーチケット配布デスク」にて配布

ATR-Promotions
BAIC
脳活動イメージングセンタ